

「防災テックチャレンジ」開催のお知らせ presented by Mistletoe

TMMF実行委員会は、防災課題の解決を目的とした公募プログラム「防災テックチャレンジ」（締切：2020年6月30日）を開催します。優れた提案には賞金（最高50万円）を授与します。
詳細▷ <https://tmmf.jp/2020/?p=2384>

TMMF実行委員会は、国立研究開発法人 防災科学技術研究所（以下、防災科研）および、つくば市の協力の元、スタートアップアクセラレーター（投資会社）であるMistletoe Japan合同会社の協賛により、メイカー^{（注）}のアイデアや技術を防災に応用することを目的とした公募プログラム「防災テックチャレンジ」を初開催する運びとなりました。研究機関・行政の専門家が解決したい防災課題を提示し、その解決手法を求めます。プロトタイプ部門とアイデア部門の2つの部門があり、優れた提案には賞金（最高50万円）が授与されます。

本公募プログラムは、2020年2月16日に「Tsukuba Mini Maker Faire 2020（つくばミニメイカーフェア 2020）」において開催した「メイカーの力を防災に活かそう！『防災テックチャレンジ』」セッション（登壇者：防災科研理事長 林春男、つくば市長 五十嵐立青）にて発表いたしました。

注：メイカーとは、DIYでものづくりを楽しむ個人または団体のことを指します。Maker Faireは、メイカー達の祭典です。

公募プログラムの詳細

応募者には、次のページに示す防災課題の中から1つを選び、解決手法を考えていただきます。

プロトタイプ部門：

実際に稼働するプロトタイプを制作し、動作している様子を1分以内の動画に収め（解説など含む）、提出していただきます。

アイデア部門：

解決手法のアイデアを考え、B3用紙1枚（片面）に描き、郵送にて提出していただきます。

- ・応募方法：下記URLからたどれる応募用フォームよりご応募ください。
- ・URL：<https://tmmf.jp/2020/?p=2384>
- ・公募期間：2020年2月17日～6月30日(火) 23:59まで。郵送の場合は6月30日消印有効。
- ・発表：2020年8月(予定)に審査結果を発表します。表彰式にて賞および目録の授与を行います。
- ・審査員：林春男（防災科学技術研究所理事長）、五十嵐立青（つくば市長）、孫泰蔵（Mistletoe Japan合同会社CEO）、荒木健太郎（気象研究所）、中川磨（筑波大学）、他

賞および賞金

賞および賞金は以下の通り。

プロトタイプ部門：

金賞 50万円 × 1点
銀賞 20万円 × 1点 銅賞 10万円 × 1点

アイデア部門：

アイデア賞 5万円 × 2点 U18賞 5万円 × 2点

お問い合わせ先

TMMF実行委員会 防災テックチャレンジ事務局
〒305-0031 茨城県つくば市吾妻1-10-1-105
up Tsukuba内
TEL：03-3599-8978
E-mail：tmmf.jp@gmail.com
URL：<https://tmmf.jp/>
Twitter: @tmmf_jp Facebook: @tmmf.jp

防災テックチャレンジ 課題一覧

ここでは各課題のタイトルのみ示します。詳細は、下記URLからたどれる課題詳細をご覧ください。

URL : <https://tmmf.jp/2020/?p=2384>

- (1) 災害発生時等の市民とのコミュニケーション手段の開発
- (2) ローコストIoT水位計の開発
- (3) スマホ雨センサーの開発
- (4) 自動除雪ロボットの開発
- (5) ホワイトボード記入文書の自動ドキュメント化・タグ付けアーカイブシステム開発
- (6) 持ち運び容易なA0/A1印刷可能なプリンターとスキャナーの開発
- (7) Twitter等の画像を用いた3次元火山噴火状況把握ツールの開発
- (8) 雨傘への雨量観測付きIoTセンサー開発
- (9) 都市域でも安全に観測できるラジオゾンデの開発
- (10) 激しい風雨の中で必要な情報が伝わるコミュニケーション装置
- (11) 避難所のオープンデータ化のためのアプリケーション開発
- (12) 自由提案



災害発生時等の市民との
コミュニケーション手段の開発
(イメージ図)



スマホ雨センサーの開発 (イメージ図)



雨傘への雨量観測付き
IoTセンサー開発 (イメージ図)